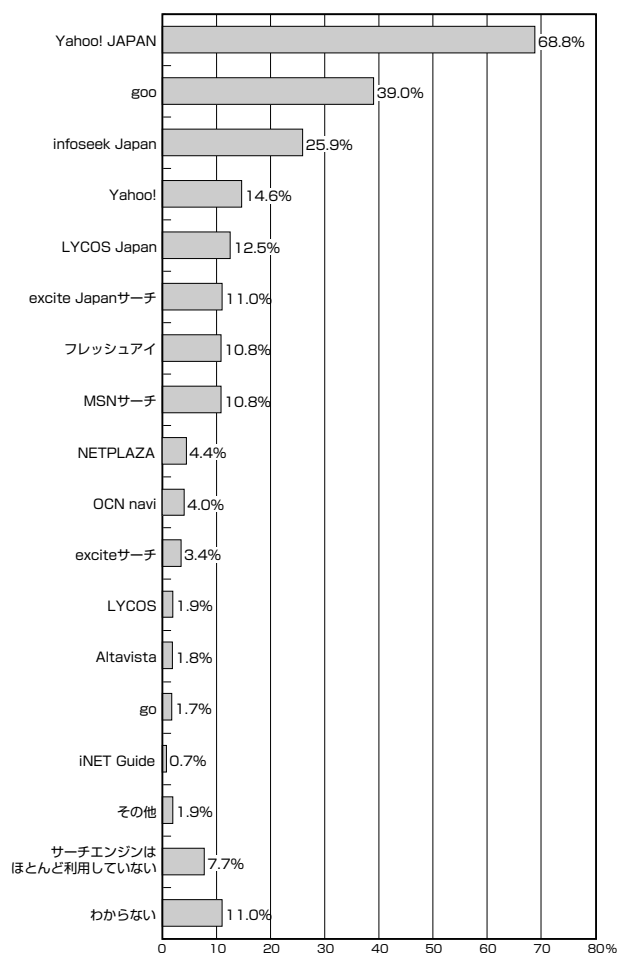


## 第2章 個人

## 総合ポータル/有料情報

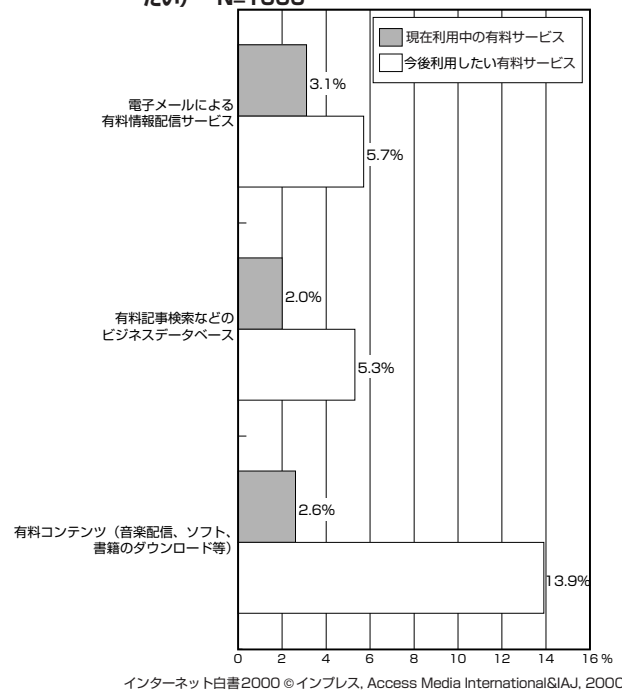
## LYCOSとexciteが上昇

資料1-2-13 利用サーチエンジン（検索サービス） N=1666



インターネット白書2000 ©インプレス、Access Media International&amp;IAJ, 2000

資料1-2-14 有料情報サービスの利用状況（現在利用中/今後利用したい） N=1666



インターネット白書2000 ©インプレス、Access Media International&amp;IAJ, 2000

## 解説

サーチエンジンや検索サービスの利用についてはインターネット個人利用者の8割以上が利用している。1人当たりの利用数は2.3種類であったが、昨年と比較するとやや少なくなっている。前述のように、今回の調査では利用者層の裾野の広がりやエンター層の増加が顕著で（昨年と比較すると、1年未満のインターネット利用歴の回答者が約2.5倍）、全般に各利用率が低くなっているが、サーチエンジンに関しても例外ではなく、過去の調査で常に70%以上の利用率を誇ってきた「Yahoo! JAPAN」も、1位ではあるものの68.8%となった。また2位、3位の「goo」、「infoseek Japan」もその順位は変わらないものの利用率は落としている。上位が利用率を落とす中で伸びたのは「LYCOS Japan」（12.5%）、「excite Japan」（11.0%）、「フレッシュアイ」（10.8%）、「MSNサーチ」（10.8%）等であり、利用がやや分散化傾向にあ

るといえる（資料1-2-13）。

有料情報サービスの利用状況を見ると現在利用中の有料サービスはどの項目も2～3%程度といった低利用率である。前述のように現状では電子メールによる情報配信でも無料であれば27.5%であったが、有料では利用率が大きく下がっており、有料情報サービスの利用者は少ない。しかし、今後の利用意向はいずれも現在の数値を上回っており、特に音楽配信やソフト、書籍のダウンロード等のコンテンツサービスへの期待が相対的に高い。性別で見ると、現在の利用についても、また今後の利用意向も、男性が高く、女性が低くなっている。

今後の有料情報サービスは内容の充実はもちろんのこと、内容に対する価格設定、課金方法など、利用者が納得して利用できるようなレベルを見極めてサービスを提供することが課題である。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)